



# Toolkit ユーザーマニュアル

---



このドキュメントの最新オンライン版にアクセスするには  
ここをクリックしてください。最新のコンテンツ、拡大可能な図解、分かりやすいナビゲーション、検索機能もあります。

# Contents

<b>1</b>	<b>Toolkitの使用開始</b>	<b>5</b>
	システム要件	6
	Toolkitのダウンロードとインストール	6
	Toolkitを開きます。	7
	メインメニュー	7
<b>2</b>	<b>ミラーリング動作</b>	<b>10</b>
	ミラーフォルダの場所	10
	ミラーリング計画	11
	• 簡単設定	11
	• カスタム設定	11
	• ミラーフォルダへのファイルの追加	11
	ミラーリング計画の一時停止/再開	11
	ミラーリング計画の編集	12
	ミラーリング計画	12
	レポートの表示	12
	Toolkitのミラーリングについてのよくある質問	13
<b>3</b>	<b>バックアップ動作（Windowsのみ）</b>	<b>14</b>
	ファイルのタイプと手順	14
	• バックアップ・ファイルの保存場所の設定	14
	• アーカイブ・ファイルの表示	14
	クイックバックアップの設定	15
	カスタム・バックアップ計画の作成	15
	バックアップ計画の編集	15
	バックアップ計画の設定	16
	• 手順1：コンテンツの選択	16
	• 基本	16
	• 詳細	16
	• 手順2：バックアップ先ドライブの選択	17
	• 手順3：バックアップのスケジュール設定	17
	バックアップ計画の一時停止/再開	17
	バックアップ計画の削除	18
	ファイルの復元	18
	レポートの表示	18
	Toolkitのバックアップについてのよくある質問	19
<b>4</b>	<b>復元操作（Windowsのみ）</b>	<b>20</b>
<b>5</b>	<b>Sync Plus 動作</b>	<b>21</b>
	クイック同期のセットアップ	21

カスタム Sync Plus 計画の作成	22
Sync Plus 計画の一時停止/再開	23
同期フォルダとアーカイブの表示	23
Sync Plus 計画の編集	23
Sync Plus 計画の削除	23
ファイルの復元	23
同期から除外されるファイルとフォルダ	24
<b>6 Seagate Secure</b>	<b>25</b>
Toolkitによるセキュリティの有効化	25
• パスワードリセットキーの設定 (オプション)	27
ドライブのロック解除	27
• Toolkitを使ったパスワードの入力	27
• Unlock Drive アプリを使ったパスワードの入力	28
• パスワード入力の試行回数の上限を超えた場合	28
ドライブのロック	29
パスワードの変更	29
パスワードリセットキーの設定	29
• 要件	30
• セキュリティを有効化した後のパスワードリセットキーの設定	30
パスワードリセットキーの使用	31
信頼済みのコンピュータ	31
• 信頼済みのコンピュータのステータスの削除	32
セキュリティの無効化	32
セキュリティの再有効化	32
マルチユーザーアクセス	33
• 二人目のユーザーの編集	35
• 二人目のユーザーの無効化	35
• 二人目のユーザーの削除	35
ドライブの暗号消去	36
ドライブを工場出荷時の設定にリセットする	36
<b>7 インポート</b>	<b>38</b>
Import (インポート) 機能のインストール	38
メモ리카ードからのインポート	38
• メモ리카ードのインポートの有効化/無効化	39
• メモ리카ードの増分インポートの有効化/無効化	39
USBデバイスからのインポート	39
• USBデバイスのインポート・プロンプトの有効化/無効化	40
インポート済みのファイルの保存場所	40
フォルダの命名規則	40
Toolkitのインポートに関するよくある質問	41
• 質問: インポート機能では、ドライブへのインポートが完了したら、メモ리카ードの中身は消えるのですか?	41
• 質問: 外付けのカードリーダーでもインポートを使えますか?	41
<b>8 RAID セットアップ</b>	<b>42</b>

LaCie RAID Manager からの追加リソース .....	42
RAID の説明 .....	42
• RAID およびデータ セキュリティ .....	43
Toolkit による RAID レベルとフォーマットの設定 .....	44

## 9 RGBとステータスLEDの管理 ..... 45

ステータスLEDの無効化/有効化.....	45
RGB照明パターンの編集 .....	46
• RGB動作へのアクセス .....	46
• RGB照明の設定 .....	46
• Razer Synapse 3アプリを経由したRazer Chroma (Windowsのみ) .....	46
• Razer Chromaの要件.....	47
• Razer Chromaの使用.....	47
• FireCuda RGBアプリ .....	47
• LED設定の編集.....	47
• パターンを選択 .....	48
• アニメーションを選択 .....	48
• 選択したパターン/アニメーションのプレビュー .....	50
• 表示時間のコントロール .....	51
• 色を変更 .....	51
• 単色のプリセットアニメーション .....	51
• 単色およびレインボーのカスタムアニメーション .....	52
• グローバル設定を変更 .....	53

## 10 設定 ..... 54

Toolkitアプリの設定 .....	54
インポートの設定 .....	54
Toolkitのアップデート .....	55
情報 .....	55

# Toolkitの使用開始

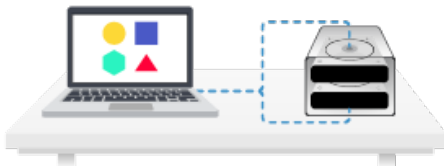
Toolkitは、ファイルのバックアップ、セキュリティ管理などの使いやすいツールで、ストレージ・ソリューションを最大限活用できるようサポートします。Toolkitの動作と機能には以下が含まれます。



**自動バックアップでデータを保護する。** コンピュータのフォルダをドライブにミラーリングすることで、常に両方の場所にファイルがある状態を保つ。



**Seagate とLaCieの自己暗号化ドライブのセキュリティ管理を行う。** Toolkitを使って、セキュリティを有効化し、パスワードを作成することで、Seagate Secure AES 256ビット暗号化技術でデータを確実に保護する。



**RAID設定。** Toolkitを使用すれば、Seagate とLaCieの対応デュアル・ドライブ・デバイス向けにRAIDの初期レベルとフォーマットを簡単に設定することができます。



**メモリカードからすばやくファイルをインポートできます。** ドライブの内蔵カードリーダーにメモリカードを差し込むだけで、Toolkitが自動的にファイルをドライブにコピーするため、フォルダを開いてファイルをドラッグする必要がありません。



Toolkitの動作と機能の中には、SeagateとLaCieの対応ドライブでしかご使用いただけないものもあります。特定の動作や機能に対応しているドライブについては、本ユーザーマニュアルの該当する章をご参照ください。

## システム要件

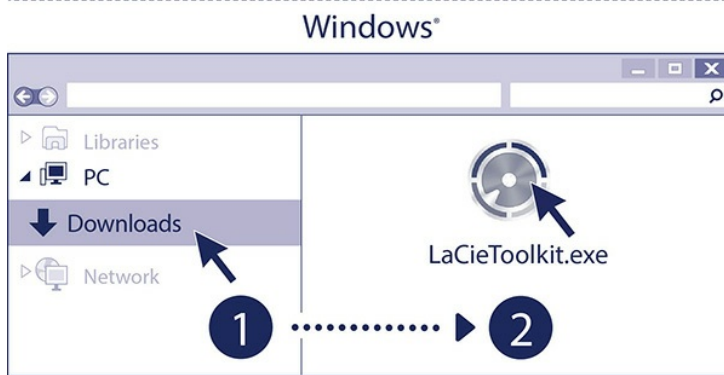
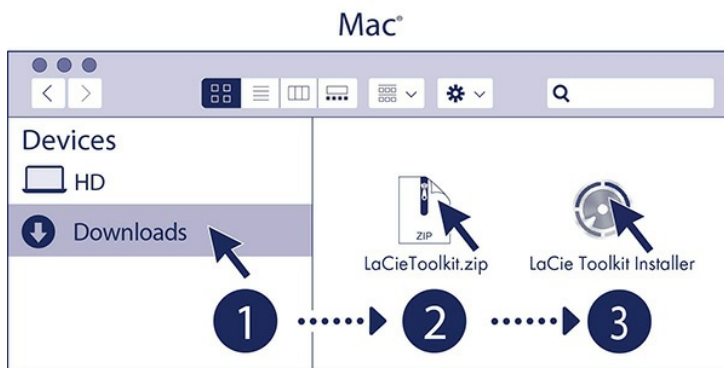
「[Seagateのハードウェアとソフトウェアのオペレーティング・システム要件](#)」をご覧ください。

## Toolkitのダウンロードとインストール



Toolkitのインストールおよび実行にはインターネット接続が必要です。

1. [LaCie Toolkitサポート・ページ](#)をクリックして開きます。
2. [ダウンロード]のセクションまでスクロールダウンします。
  - Mac - [macOS用LaCie Toolkit](#)のリンクをクリックします。
  - Windows - [Windows用LaCie Toolkit](#)のリンクをクリックします。
3. Finderやファイルエクスプローラなどのファイルマネージャーを使って、ダウンロードしたフォルダを開きます。



- Mac - [LaCieToolkit.zip](#)ファイルを開きます。[LaCie Toolkitインストーラ](#)をクリックしてアプリケーションを起動します。
- Windows - [LaCieToolkit.exe](#)ファイルをクリックして、アプリケーションを起動します。

# Toolkitを開きます。

以下のいずれかの方法でToolkitを開きます。



Mac

- スポットライトバーをクリックして、「Toolkit」と入力して、アプリを選択します。
- Finderを使って、[アプリケーション] フォルダを開き、[Toolkit] をダブルクリックします。

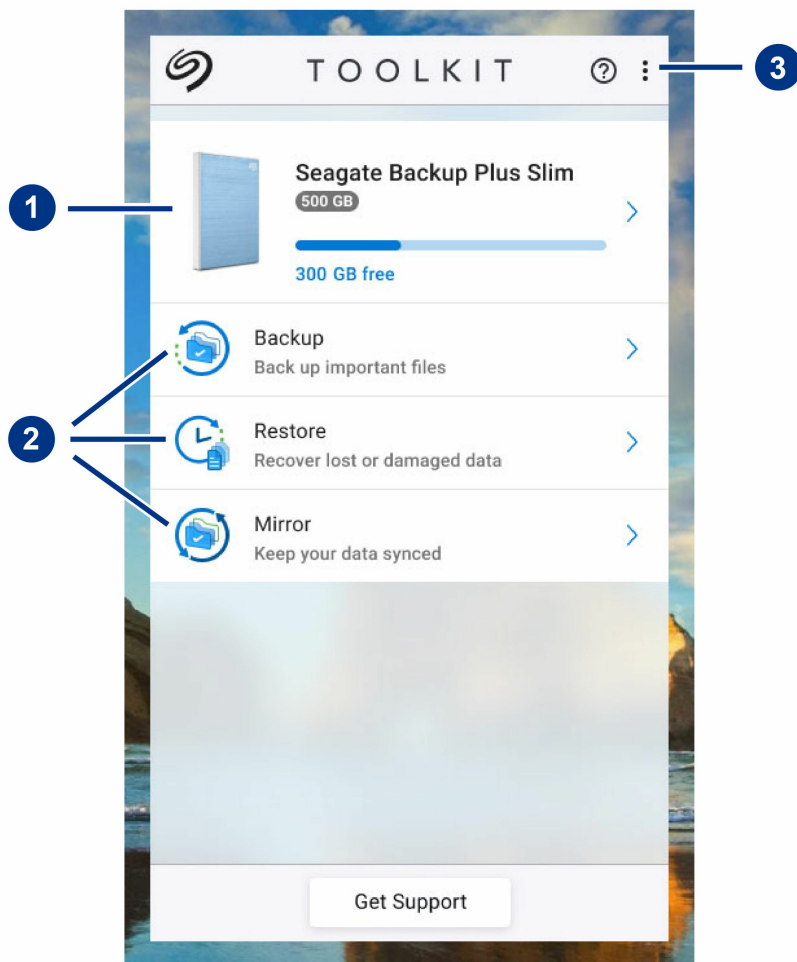


Windows

- デスクトップ上のToolkitのアイコンをダブルクリックします。タスクバーにToolkitのアイコンを追加しておくとも簡単にアクセスできます。
- Windows検索をクリックして、「Toolkit」と入力して、アプリを選択します。
- [スタート] メニューをクリックして、メニューから [Toolkit] を選択します。

## メインメニュー

Toolkitを開くと、メインメニューが表示されます。



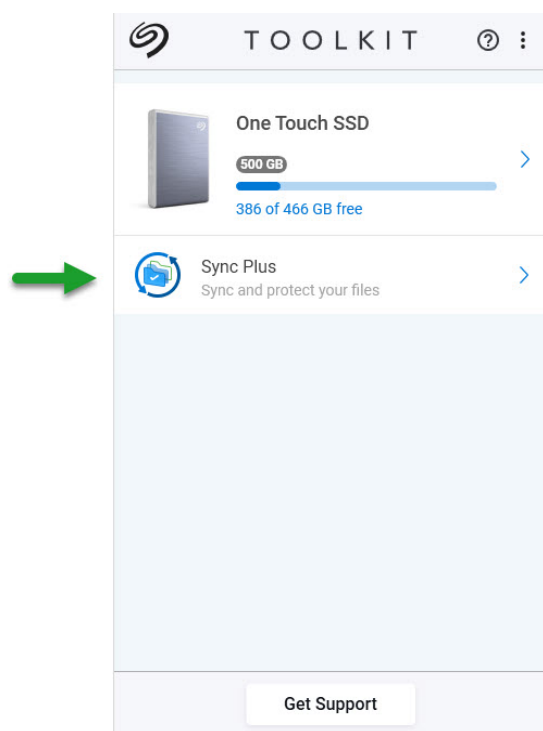
1. ドライブ - クリックするとデバイスの詳細が表示されます。

2. 動作 - クリックすると動作の設定や編集を行えます。
3. 詳細 - このアイコンをクリックすると設定を変更したりToolkitを終了したりできます。

SeagateまたはLaCieドライブのモデルによって、Toolkitに表示される動作は異なります。ドライブによっては、(上の画像のように)以下の動作が表示される場合もあります。

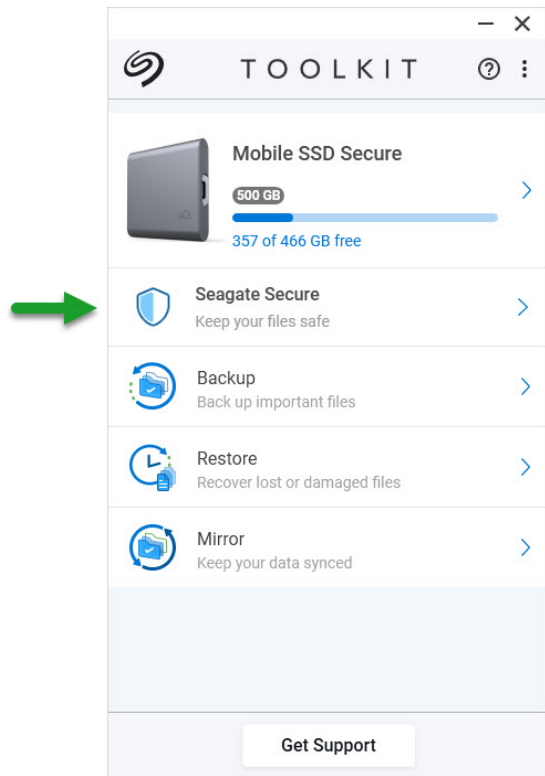
- [Mirror](#) (ミラーリング)
- [Backup](#) (バックアップ) (Windowsのみ)
- [Restore](#) (復元) (Windowsのみ)

一部のSeagateおよびLaCieモデルは、バックアップ/復元/ミラーリングの代わりに、[Sync Plus](#)に対応しています。

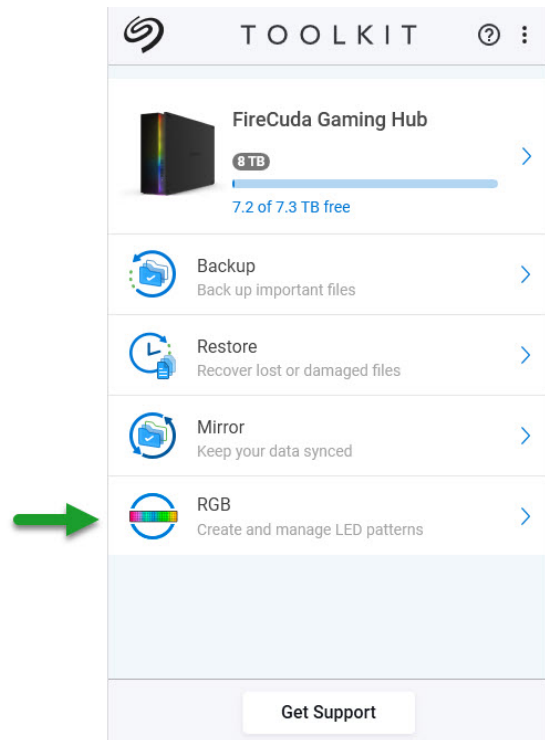


SeagateおよびLaCieの自己暗号化ドライブ (SED) には、[Seagate Secure](#)の動作も含まれます。





カスタマイズ可能なLED搭載のドライブには、RGB動作もあります。



# ミラーリング動作



Mirror（ミラーリング）動作を行うと、ストレージデバイスと同期しているPCまたはMacでミラーフォルダを作成することができます。フォルダ内でファイルの追加、編集、または削除を行うと、Toolkitがその変更をもう一方のフォルダに自動で反映します。

## ミラーフォルダの場所

ミラーフォルダを設定する際、ミラーフォルダの保存場所として、PCまたはMac上の場所を指定することができます。場所を指定しない場合、ミラーフォルダはユーザーフォルダのルートに配置されます。

Toolkitは、外付けドライブに対応するミラーフォルダを作成します。Windows PCの場合、ミラーフォルダは以下の場所にあります：

X:\Toolkit\Mirror\



Xは、コンピュータが外付けドライブに割り当てたドライブ・レターを表します。ドライブ・レターはドライブによって異なり、コンピュータに接続されているドライブの台数によって変わることがあります。

Toolkitは以下の場所にミラーフォルダを作成します：

名前\Toolkit\Mirror\



名前は外付けドライブに割り当てられた名前を表します。

# ミラーリング計画

## 簡単設定

Toolkitを使うと、コンピュータのユーザーフォルダに簡単にミラーフォルダを設定できます。

1. Toolkitを開きます。
2. メインメニューで **[Mirror (ミラーリング)]** 動作をクリックします。
3. **[Mirror Now (今すぐミラーリング)]** をクリックします。

Toolkitが以下を実行します：

- コンピュータのユーザーフォルダに「Mirror」という名前のフォルダを追加します。
- ストレージ・デバイスに「Mirror」という名前のフォルダを追加します。デフォルトの場所はToolkitフォルダです。

## カスタム設定

カスタム設定では、コンピュータ上でミラーフォルダの場所を選択することができます。

1. Toolkitを開きます。
2. メインメニューで **[Mirror (ミラーリング)]** 動作をクリックします。
3. **[Custom (カスタム)]** をクリックします。
4. **[Mirror to... (ミラーリング先)]** カードをクリックします。
5. ミラーフォルダを作成するコンピュータ上の場所を選択します。
6. **[Create (作成)]** をクリックします。

Toolkitが以下を実行します：

- コンピュータ上の選択した場所に「Mirror」という名前のフォルダを追加します。
- ストレージ・デバイスに「Mirror」という名前のフォルダを追加します。デフォルトの場所はToolkitフォルダです。

## ミラーフォルダへのファイルの追加

ファイルを追加するには、いずれかのミラーフォルダにファイルをドラッグします。ミラーフォルダ内でファイルの追加、編集、または削除を行うと、Toolkitがその変更をもう一方のミラーフォルダに自動で反映します。

- ! 同期するためには、各ミラーフォルダに「Mirror」という名前を付ける必要があります。ファイル名は変更しないでください。

## ミラーリング計画の一時停止/再開

1. Toolkitを開きます。
2. メインメニューで [Mirror (ミラーリング)] 動作をクリックします。
3. [その他] アイコン(⋮) をクリックして、[Pause (一時停止)] を選択します。

ミラーリング計画を再開するには、[その他] アイコン(⋮) をクリックして、[Resume (再開)] を選択します。

## ミラーリング計画の編集

1. メインメニューで [Mirror (ミラーリング)] 動作をクリックします。
2. [その他] アイコン(⋮) をクリックして、[Edit (編集)] を選択します。
3. ミラーフォルダを保存するコンピュータ上の新しい場所を選択します。
4. [Create (作成)] をクリックします。

これで新しいミラーフォルダが、ストレージ・デバイス上のミラーフォルダと同期されるようになります。



Toolkitが新しいミラーフォルダを作成しても、過去のフォルダは削除されません。過去のフォルダはストレージ・デバイスとは同期されなくなり、削除することもできます。

## ミラーリング計画

1. メインメニューで [Mirror (ミラーリング)] 動作をクリックします。
2. [その他] アイコン(⋮) をクリックして、[Delete (削除)] を選択します。
3. [OK] をクリックして確定します。



Toolkitはミラーリング計画を削除しますが、コンピュータまたはストレージ・デバイス上のミラーフォルダは削除しません。フォルダの中身もそのまま残ります。

## レポートの表示

ミラーリング動作のレポートを確認することができます。レポートには、同期されなかったファイルの一覧、詳細、ホスト・コンピュータとバックアップ・ドライブのファイルパスが表示されます。

**Mirror files to Backup Plus on 8/29/19, 1:44 PM**

Result Summary: 12 of 12 files

Result	Host Path	Size	Drive Path
✓ Synced	📁 Mirror	30 KB	Backup Plus/Toolkit/Mirror
⚠ Skipped, system file	📁 Icon	-	
⚠ Skipped, system file	📁 .DS_Store	-	
⚠ Skipped, system file		-	Backup Plus/Toolkit/Mirror/Icon

1. Toolkitを開きます。
2. メインメニューで [\[Mirror \(ミラーリング\)\]](#) 動作をクリックします。
3. [\[その他\] アイコン\(...\)](#) をクリックして、[\[Report \(レポート\)\]](#) を選択します。

## Toolkitのミラーリングについてのよくある質問

[\[Toolkitのミラーリングに関するよくある質問\]](#) をクリックすると、ミラーフォルダの作成や使用に関するよくある質問の答えが表示されます。

# バックアップ動作（Windowsのみ）

Backup（バックアップ）動作を行うと、コンテンツ、ストレージデバイス、希望のスケジュールに合わせてカスタマイズプランを作成することができます。[Backup（バックアップ）]はWindows版Toolkitでご使用いただけます。

## ファイルのタイプと手順

Toolkitではデータのバックアップを作成できますが、プログラム・ファイル、アプリケーション・データ、一時ファイル、その他のタイプのシステムファイルやフォルダはバックアップからは除外されます。



詳しくは、[\[Toolkitのバックアップから除外されるファイルパスと拡張子\]](#) をクリックしてください。

Toolkitはまず、バックアップ計画が作成されると、選択したデータのフルバックアップをストレージ・デバイスに保存します。初回以降のバックアップでは、前回のバックアップ以降に変更されたデータのみを保存します。これにより、スケジュール設定バックアップに必要な時間と容量を節約することができます。

## バックアップ・ファイルの保存場所の設定

Toolkitが外付けストレージ・デバイスにファイルをバックアップすると、ドライブ上に以下のフォルダ階層が作成されます。

X:\Toolkit\Backup\名前\c\



Xは、コンピュータが外付けドライブに割り当てたドライブ・レターを表します。ドライブ・レターはドライブによって異なり、コンピュータに接続されているドライブの台数によって変わることがあります。名前はコンピュータの名前を表します。

バックアップ・ファイルは通常、\Toolkit\Backup\名前\c\フォルダ内の元のユーザーフォルダのコピーにあります。これはバックアップ計画の設定によって異なる場合があります。

## アーカイブ・ファイルの表示

コンピュータ上のファイルを更新すると、バックアップ計画が過去のバージョンを以下のアーカイブ・フォルダにコピーします。



Xは、コンピュータが外付けドライブに割り当てたドライブ・レターを表します。ドライブ・レターはドライブによって異なり、コンピュータに接続されているドライブの台数によって変わることがあります。名前はコンピュータの名前を表します。

## クイックバックアップの設定

数回クリックするだけで、個人用ファイルを手軽にバックアップすることができます。個人用ファイルには、Windows上のシステムファイル以外のファイルがすべて含まれます。

1. Toolkitを開きます。
2. メインメニューで **[Backup (バックアップ)]** をクリックします。
3. **[Back Up Now (今すぐバックアップ)]** をクリックします。



**[Back Up Now (今すぐバックアップ)]** のオプションは、すでにバックアップ計画を作成している場合は使用できません。

Toolkitは個人用ファイルをバックアップして、新しいバックアップ計画を作成します。この計画は、コンピュータにファイルが追加されると、あるいは変更されると、毎回個人用ファイルをストレージ・デバイスに継続的にバックアップするよう設定されます。自動作成された計画の詳細は変更することができます。詳しくは、[バックアップ計画の編集](#)をご覧ください。

## カスタム・バックアップ計画の作成

カスタム・バックアップ計画では、バックアップのコンテンツ、デバイス、スケジュールを選択できます。

1. Toolkitを開きます。
2. メインメニューで **[Backup (バックアップ)]** 動作をクリックします。
3. **[Custom (カスタム)]** をクリックします。
4. [バックアップ計画の設定](#)の手順を実行します。

## バックアップ計画の編集

バックアップ計画のコンテンツ、バックアップ先、スケジュールを変更できます。

1. Toolkitを開きます。
2. メインメニューで **[Backup (バックアップ)]** 動作をクリックします。
3. **[その他] アイコン (...)** をクリックして、**[Edit (編集)]** を選択します。
4. [バックアップ計画の設定](#)の手順を実行します。

# バックアップ計画の設定

Toolkitにバックアップ計画の設定に必要な手順が順に表示されます。

## 手順1：コンテンツの選択

バックアップに含めるコンテンツを選択する方法は、基本と詳細の2種類があります。

### 基本

1. システムファイル以外のコンテンツを含めるには、以下のチェックボックスをクリックします：

すべてのファイル	Windowsルートドライブ
個人用ファイル	ユーザーフォルダ
ドキュメント	ドキュメントライブラリ
音楽	音楽ライブラリ
写真	写真ライブラリ
ビデオ	ビデオライブラリ

2. コンテンツの選択が完了したら、[\[Next \(次へ\)\]](#) をクリックします。

### 詳細

1. より細かくコンテンツを選択するには、[\[Advanced \(詳細\)\]](#) をクリックします。
2. サイドバーとコンテンツ・ウィンドウを使って、手動でフォルダを選択します。

複数の項目の選択



キーボードのShiftまたはCtrlキーを使って右側の項目を複数選択（ハイライト）することができます。

リストの複数の項目を選択するには：

1. 最初のフォルダをクリックします。
2. キーボードのShiftキーを押したまま、
3. 最後のフォルダをクリックします。

コンピュータ上の連続しない別々の場所にある複数の項目を選択する方法：

1. フォルダをクリックします。
2. キーボードのCtrlキーを押したまま、
3. 続いて他のフォルダをクリックします。

コンテンツの選択が完了したら、[Next (次へ)] をクリックします。

## 手順2：バックアップ先ドライブの選択

1. バックアップ先のドライブをクリックします。
2. ドライブを選択したら、[Next (次へ)] をクリックします。

## 手順3：バックアップのスケジュール設定

1. 期間をクリックしてバックアップの頻度を設定します。
2. 例えば具体的な時間や曜日を選んで、選択した期間の設定を調整することができます。
3. [Start Backup (バックアップを開始)] をクリックします。

変更が保存されます。以下の条件が満たされている場合、Toolkitはスケジュールに従って選択したフォルダをバックアップします：

- PCがオンになっている。
- ストレージ・デバイスがPCに接続されている。
- Toolkitが実行されている。

- ! 常時バックアップ計画では、コンテンツの追加や削除、ファイルの更新が行われる度に毎回ファイルが保存されます。常時バックアップは、特定データの復元には便利ですが、システム・リソースを多く使用します。

## バックアップ計画の一時停止/再開

スケジュール設定バックアップは一時停止できます。

1. ツールキットを閉じます。

1. Toolkitを開きます。
2. メインメニューで [Backup (バックアップ)] 動作をクリックします。
3. ドライブ上で [Pause (一時停止)] をクリックします。

バックアップ計画を再開するには、[Backup (バックアップ)] 画面に戻って、[Resume (再開)] をクリックします。

## バックアップ計画の削除

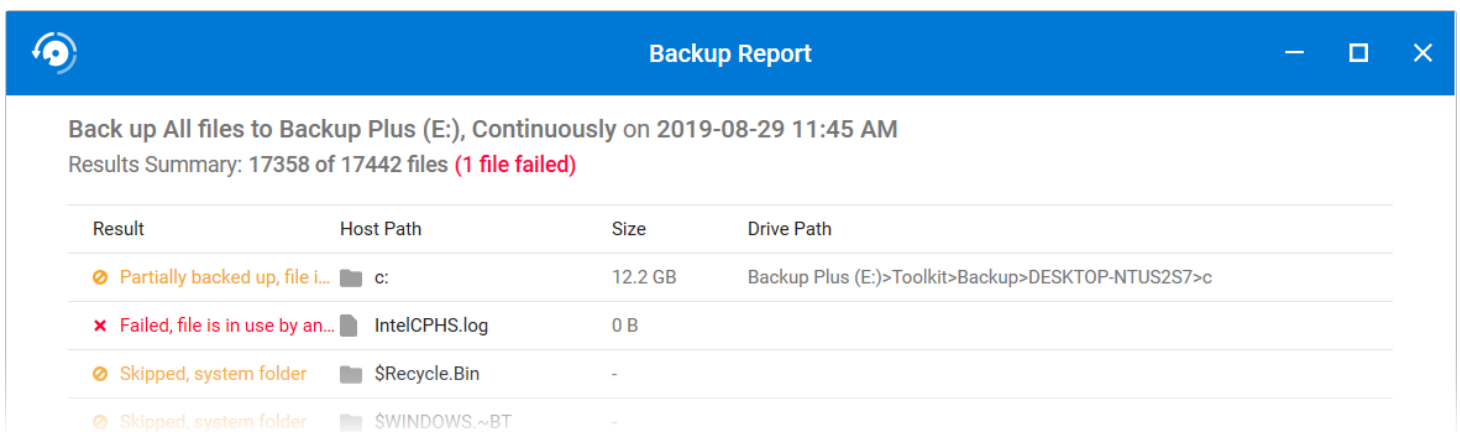
1. Toolkitを開きます。
2. メインメニューで [Backup (バックアップ)] 動作をクリックします。
3. [その他] アイコン(⋮) をクリックして、[Delete (削除)] を選択します。
4. (オプション) デバイスにバックアップされたすべてのファイルを削除する場合は、[Delete all files backed up the device (デバイスにバックアップされたすべてのファイルを削除する)] の横のチェックボックスを選択します。
5. [Delete (削除)] をクリックして確定します。

## ファイルの復元

1. Toolkitを開きます。
2. メインメニューで [Backup (バックアップ)] 動作をクリックします。
3. [その他] アイコン(⋮) をクリックして、[Restore (復元)] を選択します。
4. 以降の手順を行います。

## レポートの表示

バックアップ動作のレポートを確認することができます。レポートには、バックアップされなかったファイルと一部しかバックアップされなかったファイルの一覧、詳細、ホスト・コンピュータとバックアップ・ドライブのファイルパスが表示されます。



The screenshot shows a window titled "Backup Report" with a blue header. Below the header, it displays the backup configuration: "Back up All files to Backup Plus (E:), Continuously on 2019-08-29 11:45 AM". A summary line reads "Results Summary: 17358 of 17442 files (1 file failed)". Below this is a table with four columns: Result, Host Path, Size, and Drive Path. The table contains four rows of data.

Result	Host Path	Size	Drive Path
Partially backed up, file i...	c:	12.2 GB	Backup Plus (E:)>Toolkit>Backup>DESKTOP-NTUS2S7>c
Failed, file is in use by an...	IntelCPHS.log	0 B	
Skipped, system folder	\$Recycle.Bin	-	
Skipped, system folder	\$WINDOWS.~BT	-	

1. Toolkitを開きます。

2. メインメニューで [Backup](#) (バックアップ) ] 動作をクリックします。
3. [その他] アイコン( [...](#) ) をクリックして、[Report](#) (レポート) ] を選択します。

## Toolkitのバックアップについてのよくある質問

[\[Toolkitのバックアップに関するよくある質問\]](#) をクリックすると、バックアップ計画の作成や使用に関するよくある質問の答えが表示されます。

# 復元操作（Windowsのみ）

Toolkitバックアップ・プランから、外付けドライブにバックアップしておいたファイルを復元することができます。

1. Toolkitを開きます。
2. メインメニューで [Restore（復元）] をクリックします。
3. 復元したいバックアップ・プランを選択します。
4. [Restore（復元）] の画面で、復元したいバージョンを選択します。 [Next（次へ）] をクリックします。
5. デフォルトでは、Toolkitは元あった場所にファイルを復元します。（別の場所にファイルを復元したい場合は、サイドバーとコンテンツ・ウィンドウを使ってフォルダを選択します。 [Restore to Original Location（元の場所に復元）] をクリックすると、いつでもデフォルトの場所にリセットできます。）
6. [Restore（復元）] をクリックします。

Toolkitが選択したバージョンからファイルを復元します。外付けドライブにバックアップされている他のバージョンのファイルは復元されません。



## 他のフォルダまたはコンピュータへのファイルの復元

別のフォルダまたはコンピュータにファイルを復元する場合、復元先のファイル構造が元の場所のファイル構造と一致しないことがあります。ファイルパスが一致しない場合、Toolkitは新しい復元先に元のフォルダ構造を再作成します。フォルダの構造によっては、復元されたファイルを適切な場所に手動で移動させる必要がある場合があります。

# Sync Plus 動作



Sync Plus 動作は、お使いのコンピュータとドライブの間でデータの同期を継続的に行い、ファイルが両方の場所にあるようにします。

## 常に同期

お使いの PC や Mac のフォルダをドライブのフォルダと同期します。一方のデバイスでファイルの追加、編集、削除を行うたびに、Sync Plus によってもう一方のファイルが自動的に更新されます。

## 削除したファイルのアーカイブ

削除したファイルが、自動的にドライブのアーカイブ フォルダにコピーされます。



Toolkit では一部の種類のデータは同期されません。詳細は、[同期から除外されるファイルとフォルダ](#)を参照してください。

Sync Plus は以下のプレミアム製品で利用できます。

## サポート対象デバイス

## 製品サポート ページ

## ユーザー マニュアル

Seagate One Touch SSD

[製品](#)

[ドキュメンテーション](#)

LaCie Rugged SSD Pro

[製品](#)

[ドキュメンテーション](#)

## クイック同期のセットアップ

お使いの PC や Mac のユーザ フォルダを同期する計画をすばやく作成できます。Toolkit では、以下のアクションをクイック同期で実行します。

- お使いの PC や Mac のユーザ フォルダをドライブのフォルダと同期する、デフォルトの計画を作成します。
- 削除したファイルやフォルダが、自動的にドライブのアーカイブ フォルダにコピーされます。

クイック同期を作成するには次のようにします。

1. Toolkit を開きます。
2. メイン メニューで、[Sync Plus] 動作をクリックします。
3. [同期] をクリックします。
4. 設定を確認し、[了解] をクリックします。

## カスタム Sync Plus 計画の作成

カスタム Sync Plus 計画では次のことができます。

- ドライブと同期するフォルダの選択。
- 同期やアーカイブの設定のカスタマイズ。

カスタム Sync Plus 計画を設定するには、次のようにします。

1. Toolkit を開きます。
2. メイン メニューでドライブをクリックします。
3. [新しい Sync Plus 計画の作成](#) をクリックします。
4. [\[次へ\]](#) をクリックします。
5. 同期するコンピュータのフォルダを選択します。 [\[次へ\]](#) をクリックします。
6. 同期フォルダ用のドライブの同期先を選択します。 [\[次へ\]](#) をクリックします。
7. トグルスイッチをクリックして次の設定を変更します。

設定	オン	オフ
双方向同期	コンピュータ上のファイルに対して行われた変更がドライブと同期されます。また、逆の場合も同様です。	<ul style="list-style-type: none"><li>• ドライブでは、コンピュータ上のファイルに対して行われた変更が常に同期されます。ただし、ドライブ上のファイルに対する変更はコンピュータに同期されません。</li><li>• コンピュータから削除されたファイルは、ドライブからは削除されません。</li><li>• [双方向同期] をオフにすると、[削除したファイルのアーカイブ] オプションは無効になります。</li></ul>
削除したファイルのアーカイブ	コンピュータまたはドライブから削除したファイルやフォルダが、アーカイブフォルダに保存されます。[双方向同期] をオフにすると、[削除したファイルのアーカイブ] オプションは無効になります。	削除したファイルやフォルダは保存されません。[双方向同期] をオフにすると、[削除したファイルのアーカイブ] オプションは無効になります。

8. [\[作成\]](#) をクリックします。

9. 設定を確認し、[\[了解\]](#) をクリックします。

## Sync Plus 計画の一時停止/再開

Sync Plus 計画を一時停止するには、次のようにします。

1. Toolkit を開きます。
2. メイン メニューでドライブをクリックします。
3. Sync Plus 計画で、[\[一時停止\]](#) をクリックします。

Sync Plus 計画を再開するには、[\[再開\]](#) をクリックします。

## 同期フォルダとアーカイブの表示

同期フォルダとアーカイブをファイル マネージャで表示するには、次のようにします。

1. Toolkit を開きます。
2. メイン メニューでドライブをクリックします。
3. Sync Plus 計画で、[\[表示\]](#) をクリックします。

## Sync Plus 計画の編集

Sync Plus 計画を編集するには、次のようにします。

1. Toolkit を開きます。
2. メイン メニューでドライブをクリックします。
3. Sync Plus 計画で、[\[詳細\]](#) アイコン([...](#)) をクリックして、[\[編集\]](#) を選択します。
4. 同期元のフォルダと同期先のフォルダを選択して、同期やアーカイブの設定を必要に応じて変更します。

## Sync Plus 計画の削除

Sync Plus 計画を削除するには、次のようにします。

1. Toolkit を開きます。
2. メイン メニューでドライブをクリックします。
3. Sync Plus 計画で、[\[詳細\]](#) アイコン([...](#)) をクリックし [\[削除\]](#) を選択します。
4. [\[OK\]](#) をクリックして確定します。

## ファイルの復元

アーカイブからファイルを復元するには、次のようにします。

1. Toolkit を開きます

1. TOOLKIT を開きます。
2. メインメニューでドライブをクリックします。
3. Sync Plus 計画で、[詳細] アイコン(⋯)をクリックし、[\[復元\]](#)を選択します。
4. Toolkit では、ファイル閲覧ウィンドウを開き、データをアーカイブフォルダから別の場所へコピーできます。

## 同期から除外されるファイルとフォルダ

Toolkit ではデータをバックアップできますが、プログラムファイル、アプリケーションデータ、テンポラリファイル、その他の種類のシステムファイルやフォルダは対象外です。同期から除外されるアイテムの詳細な一覧は、この[ナレッジベース記事](#)にあります。



# Seagate Secure

Seagate Secure動作では、SeagateとLaCieの自己暗号化ドライブのセキュリティ管理を行うことができます。Toolkitを使って、セキュリティを有効化し、パスワードを作成することで、AES 256ビット暗号化技術でデータを確実に保護することができます。



対応デバイス	製品サポート・ページ	ユーザーマニュアル
LaCie Mobile SSD Secure	<a href="#">製品</a>	<a href="#">資料</a>
LaCie Rugged RAID Shuttle	<a href="#">製品</a>	<a href="#">資料</a>
LaCie Rugged Secure	<a href="#">製品</a>	<a href="#">資料</a>
LaCie Rugged SSD	<a href="#">製品</a>	<a href="#">資料</a>
Seagate Backup Plus Ultra Touch	<a href="#">製品</a>	<a href="#">資料</a>
Seagate® One Touch Hub	<a href="#">製品</a>	<a href="#">資料</a>
パスワード機能付き Seagate One Touch	国によってはご利用いただけない場合があります。	国によってはご利用いただけない場合があります。

## Toolkitによるセキュリティの有効化

Toolkitは自己暗号化ドライブのセキュリティを有効化するために必要です。

1. コンピュータにデバイスを接続します。
2. Toolkitを開きます。
3. メインメニューで [Seagate Secure] 動作をクリックします。
4. [\[Enable \(有効化\)\]](#) をクリックします。

macOS 10.13以降



ドライバをインストールする必要があります。プロンプトが表示されたら、Finderを使ってドライブを取り外して、コンピュータからケーブルを取り外します。Toolkitがシステム拡張子を有効化するようにプロンプトします。[Next (次へ)] をクリックして、[セキュリティとプライバシーシステムの設定] に進み、「Seagate Technologies LLC」によって署名されたシステム拡張子を有効化します。

#### Apple Silicon Macユーザーの場合

[セキュリティとプライバシー] でシステム拡張子を有効化するためにはセキュリティの強度を下げる必要があります。詳しくは、「[Apple Silicon Macで起動ディスクのセキュリティ設定を変更する方法](#)」をご覧ください。

5. パスワードは復元できないため、覚えておける、または安全に保管しておけるパスワードを作成するように促す通知が表示されます。チェックボックスをクリックして通知の内容に同意し、[Next (次へ)] をクリックします。
6. デバイスのパッケージに入っている冊子に記載されている8桁のセキュアコード (SID) を入力します。セキュアコードは大文字と小文字が区別されます。[Next (次へ)] をクリックします。

冊子が見当たらない場合は、セキュアコード (SID) は、ドライブのエンクロージャに張り付けられているステッカーにも記載されています。LaCie Rugged SecureおよびRugged RAID Shuttleドライブに関する注記 - ステッカーは保護バンパーの下に貼り付けられています。

7. [Next (次へ)] をクリックします。

**コードが正しくない**という内容のエラーが発生した場合。Incorrect code (コードが正しくない) という内容のエラーが発生し、それ以上セキュアコード (SID) を入力できない場合は、ハードディスク・ドライブを安全に取り出し、コンピュータから取り外します。正しいSIDを確認して、もう一度ドライブを接続して試してください。このエラーは、過去にデバイスのセキュリティを有効化して、そのとき作成したパスワードが引き続き有効になっている場合にも発生することがあります。ドライブに対して最後に作成したパスワードを入力してみてください。

8. すべてのコンピュータでドライブのロックを解除するために使用するパスワードを作成します。上の欄に覚えやすく、推測されにくいパスワードを入力します。作成するパスワードは大文字と小文字が区別されます。下の欄にも同じパスワードを確認のためにもう一度入力して、[Next (次へ)] をクリックします。

パスワードをメモして安全な場所に保管しておいてください。携帯電話と同様に、SeagateまたはLaCieでもこのパスワードは復元できません。

9. (オプション) パスワードのヒントの作成。パスワードを忘れてしまった場合、思い出すためのヒントを確認することができます。パスワードのヒントを入力して、[Next (次へ)] をクリックします。

個人情報を使用するとデータセキュリティが制限されるため、自分にしかわからないヒントを使用してください。

## パスワードリセットキーの設定（オプション）

現在のパスワードを忘れてしまった場合に、ドライブ上のデータを保持しながらパスワードをリセットするためのキーを設定することができます。

入力を求められたら、Seagate/LaCieのアカウント情報を入力して、[Sign In（サインイン）]をクリックします。Seagate/LaCieのアカウントをお持ちでない場合は、[Create Account（アカウントを作る）]をクリックしてウェブページを開いてアカウントを作成してください。新規作成したアカウントを確認して、有効化する必要があります。

パスワードリセットキーを作成したら、今後パスワードをリセットする際に必要になった場合に備えて、Seagate/LaCieのアカウント情報をメモしておいてください。詳しくは、「[パスワードリセットキーの設定](#)」および「[パスワードリセットキーの使用](#)」をご覧ください。

10. [Done（完了）]をクリックします。

## ドライブのロック解除

ドライブ上のデータにアクセスするには、Toolkitアプリで作成したパスワードを入力する必要があります。Toolkitを使ってパスワードを入力できます。Toolkitがコンピュータにインストールされていない場合は、ドライブ上にあるご使用のオペレーティング・システムに適したUnlock Driveアプリを実行できます。

## Toolkitを使ったパスワードの入力

Toolkitがインストールされたコンピュータにドライブを接続すると、毎回パスワードの入力を求められます。

1. 入力を求められたら、セキュリティを有効化した際に作成したパスワードを入力します。

作成したパスワードは大文字と小文字が区別されます。

2. [Continue（続行）]をクリックします。

ドライブを接続してもプロンプトが自動的に表示されない場合は：

1. Toolkitを開きます。
2. メインメニューでデバイスをクリックします。

3. [Unlock (ロック解除)] をクリックします。
4. 入力を求められたらパスワードを入力します。
5. [Continue (続行)] をクリックします。

## Unlock Drive アプリを使ったパスワードの入力

Toolkitがインストールされていないコンピュータにデバイスを接続する場合、ドライブ上にあるUnlock Drive アプリを使ってパスワードを入力することができます。

1. ファイルエクスプローラやFinderなどのファイルマネージャーを使って、[DriveLocked] ボリュームを開きます。
2. [Unlock Drive for Windows (Windows向けにドライブのロックを解除)] または [Unlock Drive for Mac (Mac向けにドライブのロックを解除)] をクリックします。

### macOS 10.13以降



ドライバをインストールする必要があります。プロンプトが表示されたら、Finderを使ってドライブを取り外して、コンピュータからケーブルを取り外します。Toolkitがシステム拡張子を有効化するようにプロンプトします。[Next (次へ)] をクリックして、[セキュリティとプライバシーシステムの設定] に進み、「Seagate Technologies LLC」によって署名されたシステム拡張子を有効化します。

#### Apple Silicon Macユーザーの場合

[セキュリティとプライバシー] でシステム拡張子を有効化するためにはセキュリティの強度を下げる必要があります。詳しくは、「[Apple Silicon Macで起動ディスクのセキュリティ設定を変更する方法](#)」をご覧ください。

3. ドライブのために作成したパスワードを入力します。

作成したパスワードは大文字と小文字が区別されます。

4. [OK] をクリックします。

Unlocker アプリは、大容量 (12TB以上) バージョンのSeagate One Touch Hubではご使用いただけません。ドライブのロックを解除するにはToolkitアプリを使用する必要があります。

## パスワード入力の試行回数の上限を超えた場合

パスワード入力の連続試行回数の上限を超えると、ドライブが一時的に停止されます。ドライブを取り外してもう一度接続し直し、正しいパスワードでもう一度試してください。

# ドライブのロック

ドライブをコンピュータから取り外すと、ドライブは必ず自動でロックされます。ドライブを再接続した際にパスワードを入力する必要があります。

コンピュータに接続されている間に手動でドライブをロックすることもできます。

1. Toolkitを開きます。
2. メインメニューでデバイスをクリックします。
3. [Lock (ロック)] をクリックします。
4. パスワードを入力して、[Continue (続行)] をクリックします。



作成したパスワードは大文字と小文字が区別されます。

# パスワードの変更

Toolkitを使ってパスワードを変更します。

1. Toolkitを開きます。
2. メインメニューでデバイスをクリックします。
3. [その他] アイコン(●●●) をクリックして、[Change Password (パスワードの変更)] を選択します。
4. これから作成するパスワードは復元できないことを知らせる通知が表示されます。[Next (次へ)] をクリックします。
5. 上の欄に現在のパスワードを入力します。
6. 真ん中の欄に新しいパスワードを入力して、確認のために下の欄にもう一度同じ新しいパスワードを入力します。
7. (オプション) パスワードのヒントを作成して、パスワードを忘れてしまった場合に確認することができます。指定の欄にパスワードのヒントを入力します。



個人情報を使用するとデータセキュリティが制限されるため、自分にしかわからないヒントを使用してください。

8. [Next (次へ)] をクリックします。
9. これでドライブの新しいパスワードが設定されました。[Done (完了)] をクリックします。

# パスワードリセットキーの設定

現在のパスワードを忘れてしまった場合に、ドライブ上のデータを保持しながらパスワードをリセットするためのキーを設定することができます。

# 要件

- 現在のパスワードを忘れてしまう前にパスワードリセットキーを設定しておきます。
- パスワードリセットキーを設定するためには、Seagate/LaCieのアカウントが必要になります。 [新規アカウントを作成](#)するか、 [既存アカウントにサインイン](#)します。インターネット接続が必要です。新規ユーザーは新規作成したアカウントの確認と有効化を行う必要があります。
- 複数のユーザーが使用するドライブの場合 - 管理者だけがパスワードリセットキーを設定して使用できます。
- パスワードキー機能は、Seagate Secureのバージョン3.0以上でご利用いただけます。Toolkitのバージョンの確認方法：
  1. ホーム画面で、[その他] メニューをクリックして、[Settings (設定)] を選択します。
  2. [About (バージョン情報)] をクリックします



重要 - パスワードリセットキーは保険と同様に、必要になる前に設定しておいて初めて役に立つものです。パスワードリセットキーを設定していない状態でパスワードを忘れてしまった場合、 [ドライブを工場出荷時の設定にリセットする](#)しか方法はありません。ドライブを工場出荷時の設定にリセットすると、ドライブからすべてのデータが消えます。

## セキュリティを有効化した後のパスワードリセットキーの設定

[ドライブのセキュリティを有効化](#)すると、パスワードリセットキーを設定するようプロンプトが表示されますが、すでにセキュリティを有効化している場合でも、Seagate Secure動作メニューを使ってパスワードリセットキーを設定できます。

1. Toolkitを開きます。
2. メインメニューでデバイスをクリックします。
3. [その他] アイコン(●●●)をクリックして、[Reset Key リセットキー] を選択します。
4. [Create (作成)] をクリックします。
5. 現在のSeagate Secure管理者パスワードを入力します。[Continue (続行)] をクリックします。
6. PSIDの入力を求められます。これは、デバイスのパッケージに入っている冊子に記載されている32桁のリセットコードです。32桁のPSIDを入力します。(Toolkitが自動的に小文字を大文字に変換します。)

### PSIDが記載された冊子が見当たらない場合

ハードディスク・ドライブのステッカーにもPSIDが記載されています。LaCie Rugged SecureおよびRugged RAID Shuttleドライブに関する注記 - ステッカーは保護バンパーの下に貼り付けられています。

7. 入力を求められたら、Seagate/LaCieのアカウント情報を入力して、[Sign In (サインイン)] をクリックします。インターネット接続が必要です。



Seagate/LaCieのアカウントをお持ちでない場合は、[Create Account (アカウントを作成する)] をクリックしてウェブページを開いてアカウントを作成してください。新規作成したアカウントを確認して、有効化する必要があります。

パスワードリセットキーを作成したら、今後パスワードをリセットする際に必要になった場合に備えて、Seagate/LaCieのアカウント情報をメモしておいてください。

## パスワードリセットキーの使用

過去にパスワードキーを設定している場合は、それを使ってドライブのパスワードをリセットすることができます。

1. パスワード入力画面で、[[Forgot password?](#) (パスワードをお忘れの場合)] をクリックします。
2. PSIDの入力を求められます。これは、デバイスのパッケージに入っている冊子に記載されている32桁のリセットコードです。32桁のPSIDを入力します。(Toolkitが自動的に小文字を大文字に変換します。)

### PSIDが記載された冊子が見当たらない場合

ハードディスク・ドライブのステッカーにもPSIDが記載されています。LaCie Rugged SecureおよびRugged RAID Shuttleドライブに関する注記 - ステッカーは保護バンパーの下に貼り付けられています。

3. 入力を求められたら、Seagate/LaCieのアカウント情報を入力して、[[Sign In](#) (サインイン)] をクリックします。インターネット接続が必要です。
4. [Password Reset (パスワードリセット)] 画面で新しいパスワードを入力し、その下の欄にもう一度確認のために同じパスワードを入力します。
5. (オプション) パスワードのヒントを作成して、パスワードをまた忘れてしまった場合に確認することができます。指定の欄にパスワードのヒントを入力します。
6. (オプション) [[Trusted computer](#) (信頼済みのコンピュータ)] チェックボックスをクリックして、Toolkitが[信頼済みのコンピュータにドライブが接続されたら自動的にドライブのロックを解除する](#)ように設定することができます。
7. [[Next](#) (次へ)] をクリックします。
8. [[Done](#) (完了)] をクリックします。

## 信頼済みのコンピュータ

「信頼済み」として指定したコンピュータにドライブを接続すると、自動的にロック解除されるようにToolkitを設定することもできます。この設定は、他の人が使用しないコンピュータのみで使用してください。他のコンピュータに接続する場合は、ドライブのロックを解除するためにパスワードが必要となります。

1. Toolkitがインストールされているコンピュータにドライブを接続します。
2. 入力を求められたら、セキュリティを有効化した際に作成したパスワードを入力します。



作成したパスワードは大文字と小文字が区別されます。

3. [[Trust this computer](#) (このコンピュータを信頼する)] のチェックボックスにチェックを入れます。
4. [[Continue](#) (続行)] をクリックします。



ドライブを接続してもプロンプトが自動的に表示されない場合は：

1. Toolkitを開きます。
2. メインメニューでデバイスをクリックします。
3. [Unlock (ロック解除)] をクリックします。
4. 入力を求められたらパスワードを入力します。
5. [Trust this computer (このコンピュータを信頼する)] のチェックボックスにチェックを入れます。
6. [Continue (続行)] をクリックします。

接続したドライブがすでにロック解除されている場合は、以下の手順に従ってください。

1. Toolkitを開きます。
2. メインメニューでデバイスをクリックします。
3. [その他] アイコン(●●●) をクリックして、[Trusted Computer (信頼済みのコンピュータ)] を選択します。
4. [Trust this computer (このコンピュータを信頼する)] のトグルをクリックして設定を有効化します。
5. 入力を求められたらパスワードを入力して、[Continue (続行)] をクリックします。
6. [Done (完了)] をクリックします。

## 信頼済みのコンピュータのステータスの削除

コンピュータから信頼済みのコンピュータのステータスを削除するには：

1. 信頼済みのコンピュータにドライブを接続します。
2. Toolkitを開きます。
3. メインメニューでデバイスをクリックします。
4. [その他] アイコン(●●●) をクリックして、[Trusted Computer (信頼済みのコンピュータ)] を選択します。
5. [Trust this computer (このコンピュータを信頼する)] のトグルをクリックして設定を無効化します。
6. [Done (完了)] をクリックします。

## セキュリティの無効化

デバイスのロックを解除するためのパスワードが必要ないようにセキュリティを無効化することができます。この場合、パスワード保護のないセキュリティ対策の取られていないドライブとして機能します。作成したパスワードを使って、後からいつでもセキュリティを再有効化することができます。

1. Toolkitを開きます。
2. メインメニューでデバイスをクリックします。
3. [その他] アイコン(●●●) をクリックして、[Disable (無効化)] をクリックします。
4. セキュリティが無効化されることを示す通知が表示されます。パスワードを入力して確認したら、[Continue (続行)] をクリックします。

## セキュリティの再有効化

セキュリティを無効化した場合、作成したパスワードを使ってもう一度有効化することができます。



1. Toolkitを開きます。
2. メインメニューで [Enable (有効化)] をクリックします。
3. 最初にセキュリティを有効化したときに作成したパスワードを入力します。



作成したパスワードは大文字と小文字が区別されます。

4. [Continue (続行)] をクリックします。

## マルチユーザーアクセス


二人目のユーザーに対して、ストレージ・デバイスへのセキュア・アクセスを提供することができます。



マルチユーザー機能は、大容量 (12TB以上) バージョンのSeagate One Touch Hubではご使用いただけません。

他のユーザーを追加すると、コンピュータにセキュア・ドライブを接続した際のロック解除のプロンプトが変更されます。一人のユーザーだけが有効化されている場合、セキュア・ドライブではドライブの所有者、すなわち「管理者」向けに一つだけパスワードが必要になります。

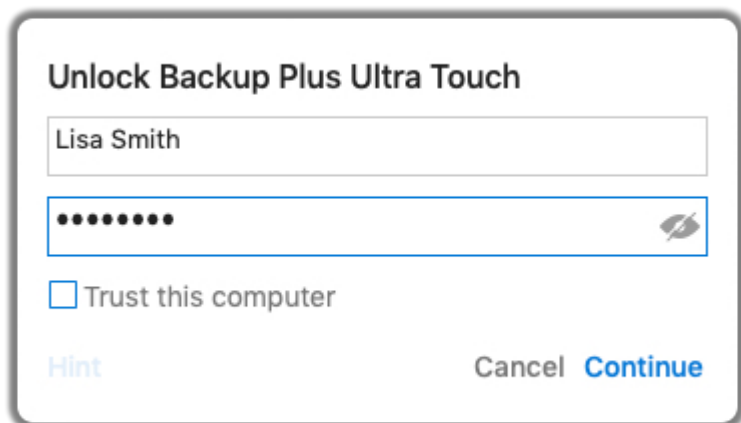
Unlock Backup Plus Ultra Touch

●●●●●●●● 

Trust this computer

Cancel Continue

マルチユーザーが有効化されている場合、ユーザーがドライブのロックを解除するためにはユーザー名とパスワードが必要になります。



セキュア・ドライブの所有者のユーザー名は「Admin」で、同じパスワードを引き続き入力できます。二人目のユーザーにユーザー名と初期パスワードを提供します。二人目のユーザーはドライブのコンテンツにはアクセスできませんが、セキュリティ操作は一切実行できません。

セキュリティ操作	管理者	ユーザー
パスワードの変更	○	○
パスワードリセットキー	○	×
セキュリティの無効化	○	×
信頼済みのコンピュータ	○	○
マルチユーザーの管理	○	×
Crypto-Erase	○	×
リセット	PSIDを持っている人なら誰でもドライブをリセットできます	

1. Toolkitを開きます。
2. メインメニューでデバイスをクリックします。
3. [その他] アイコン(●●●)をクリックして、[Manage Multi-User (マルチユーザーの管理)] を選択します。
4. [Multi-user (マルチユーザー)] のラジオボタンをクリックして、[Next (次へ)] をクリックします。
5. 管理者パスワードを確認のためにもう一度入力するよう求められます。パスワードを入力して、[Next (次へ)] をクリックします。
6. [Add User (ユーザーの追加)] をクリックします。ダイアログボックスが表示されます。
7. 二人目のユーザーのユーザー名を入力します。これは、二人目のユーザーがドライブのロックを解除する際に入力するユーザー名です。
8. 二人目のユーザーのパスワードを入力します。これは、二人目のユーザーがドライブのロックを解除する際に入力するパスワードです。覚えやすく、推測されにくいパスワードを選択してください。作成するパスワードは大文字と小文字が区別されます。
9. 同じパスワードを確認のためにもう一度入力します。
10. (オプション) パスワードのヒントの作成。二人目のユーザー向けに作成したパスワードを忘れてしまった場合

に思い出せるようにヒントを作成することができます。



個人情報を使用するとデータセキュリティが制限されるため、自分にしかわからないヒントを使用してください。

11. [Save (保存)] をクリックします。

## 二人目のユーザーの編集

管理者は、二人目のユーザーのユーザー名とパスワードを編集できます。

1. Toolkitを開きます。
2. メインメニューでデバイスをクリックします。
3. [その他] アイコン(●●●) をクリックして、[Manage Multi-User (マルチユーザーの管理)] を選択します。
4. 入力を求められたら管理者パスワードを入力して、[Continue (続行)] をクリックします。
5. ユーザーリストで、[その他] アイコン(●●●) をクリックして、[Edit (編集)] を選択します。
6. ユーザーの情報を編集して、[Save (保存)] をクリックします。
7. [Done (完了)] をクリックします。

## 二人目のユーザーの無効化

管理者は二人目のユーザーを無効化して、後からもう一度有効化する必要が生じたときのために情報をそのまま保持しておくことができます。

1. Toolkitを開きます。
2. メインメニューでデバイスをクリックします。
3. [その他] アイコン(●●●) をクリックして、[Manage Multi-User (マルチユーザーの管理)] を選択します。
4. 入力を求められたら管理者パスワードを入力して、[Continue (続行)] をクリックします。
5. ユーザーリストで、[その他] アイコン(●●●) をクリックして、[Disable (無効化)] を選択します。
6. プロンプトが表示されたら、[Disable (無効化)] をクリックして確定します。
7. [Done (完了)] をクリックします。

## 二人目のユーザーの削除

管理者は二人目のユーザーを削除できます。

1. Toolkitを開きます。
2. メインメニューでデバイスをクリックします。
3. [その他] アイコン(●●●) をクリックして、[Manage Multi-User (マルチユーザーの管理)] を選択します。
4. ユーザーリストで、[その他] アイコン(●●●) をクリックして、[Delete (削除)] を選択します。
5. プロンプトが表示されたら、[Delete (削除)] をクリックして確定します。
6. [Done (完了)] をクリックします。

# ドライブの暗号消去

暗号消去とは、セキュリティ設定を維持した状態で、ドライブに保存されているすべてのデータを安全に削除し、二度と復元できないようにする方法です。パスワードは変わりません。

1. Toolkitを開きます。
2. メインメニューでデバイスをクリックします。
3. [その他] アイコン(●●●)をクリックして、[Crypto Erase (暗号消去)] をクリックします。
4. デバイス上のすべてのデータが削除されるが、セキュリティ設定は維持されることを知らせる通知が表示されます。[Erase (消去)] をクリックします。
5. ダイアログボックスが表示されます。パスワードを入力して確認したら、[Continue (続行)] をクリックします。



管理者ユーザーとしてコンピュータにログインしている場合は、Toolkitに対してこの変更を許可することを確認します。標準ユーザーとしてログインしている場合は、コンピュータのシステム・パスワードを入力して暗号消去の実行を確定します。



Mac®

システムがToolkitに対してこの変更を許可するよう求めてきます。コンピュータのシステム・パスワードを入力して暗号消去の実行を確定します。

# ドライブを工場出荷時の設定にリセットする

工場出荷時の設定へのリセットを行うと、ドライブ上のすべてのデータやパスワードを含むすべてのセキュリティ設定が削除され、ドライブが最初の工場出荷時の設定に戻ります。

1. Toolkitを開きます。
2. メインメニューでデバイスをクリックします。
3. [その他] アイコン(●●●)をクリックして、[Reset (リセット)] をクリックします。
4. デバイス上のすべてのデータとセキュリティ設定が削除されることを知らせる通知が表示されます。[Reset (リセット)] をクリックします。
5. PSIDの入力を求められます。これは、デバイスのパッケージに入っている冊子に記載されている32桁のリセットコードです。32桁のPSIDを入力します。(Toolkitが自動的に小文字を大文字に変換します。)

## PSIDが記載された冊子が見当たらない場合

ハードディスク・ドライブのステッカーにもPSIDが記載されています。LaCie Rugged SecureおよびRugged RAID Shuttleドライブに関する注記 - ステッカーは保護バンパーの下に貼り付けられています。

6. [Continue (続行)] をクリックします。



管理者ユーザーとしてコンピュータにログインしている場合は、Toolkitに対してこの変更を許可することを確認します。標準ユーザーとしてログインしている場合は、コンピュータのシステム・パスワードを入力して工場出荷時状態へのリセットの実行を確定します。



システムがToolkitに対してこの変更を許可するよう求めてきます。コンピュータのシステム・パスワードを入力して工場出荷時状態へのリセットの実行を確定します。

# インポート

インポート機能を使って、SeagateまたはLaCieの対応デバイスの内蔵カードリーダーに挿入されているメモリカードからすばやくファイルをインポートすることができます。メモリカードを差し込むと、Toolkitが自動でファイルをデバイスにコピーするため、フォルダを開いてファイルをドラッグする必要がありません。

インポート機能はまた、SeagateまたはLaCieの対応デバイスのハブポートに接続されているUSBドライブからの自動ファイルコピーにも対応しています。ハブポートにUSBフラッシュ・ドライブまたはストレージ・デバイスを接続すると、Toolkitがハブドライブにファイルをバックアップします。

Toolkitの他の機能とは違い、インポートはホーム画面上に動作として表示されず、コピーが自動で行われるか、ドライブが検出されるとプロンプト表示されます。

対応デバイス	カードのインポート	USBのインポート	製品サポート	ユーザーマニュアル
LaCie 1big Dock	○	×	<a href="#">製品</a>	<a href="#">資料</a>
LaCie 1big Dock SSD Pro	○	×	<a href="#">製品</a>	<a href="#">資料</a>
LaCie Rugged RAID Pro	○	×	<a href="#">製品</a>	<a href="#">資料</a>
Seagate Backup Plus Hub	×	○	<a href="#">製品</a>	<a href="#">資料</a>
Seagate DJI Fly Drive	○	×	<a href="#">製品</a>	<a href="#">資料</a>
Seagate One Touch Hub	×	○	<a href="#">製品</a>	<a href="#">資料</a>

## Import（インポート）機能のインストール

Toolkitはコンピュータにすでにインストールされているはずです。「[Toolkitの使用開始](#)」をご覧ください。

1. Toolkitをインストールしたら、SeagateまたはLaCieの対応デバイスをコンピュータに接続します。
2. Toolkitが自動的に対応デバイスを検出し、Toolkitにインポート機能を追加します。

## メモリカードからのインポート

1. SeagateまたはLaCieドライブの内蔵カードリーダーにファイルが入ったメモリカードを差し込みます。Toolkit

- が差し込まれたカードのコンテンツを自動でストレージ・ドライブにインポートしたいかどうか尋ねてきます。
2. メモリカードから自動でファイルをコピーしたい場合は、[Import (インポート)] をクリックして確定します。後で [インポート] したい場合は、[Skip (スキップ)] をクリックします。

[インポート] を有効化すると、Toolkitは内蔵カードリーダーに差し込まれたメモリカードのファイルを自動でコピーします。

例えば次のような特定の状況では、ファイルが重複してコピーされる場合があります：

- メモリカードを取り外して、ドライブからカードを削除して、その後またカードを差し込んだ場合。
- メモリカードが差し込まれた状態のまま、ドライブを取り外して再接続した場合。
- デバイスが接続され、メモリカードが差し込まれた状態のままコンピュータを再起動した場合。
- デバイスが接続され、メモリカードが差し込まれた状態のままToolkitを終了して再開した場合。

## メモリカードのインポートの有効化/無効化

デフォルトではToolkitは、SeagateまたはLaCieドライブの内蔵カードリーダーに挿入されているメモリカードのファイルをインポートしますが、必要に応じてメモリカードのインポートを無効化することもできます。

1. Toolkitのホーム画面で、[その他] アイコンをクリックして、[Settings (設定)] を選択します。
2. [Import content of inserted memory cards (挿入されているメモリカードのコンテンツをインポート)] の横にあるトグルスイッチをクリックします。

## メモリカードの増分インポートの有効化/無効化

デフォルトではToolkitは、SeagateまたはLaCieドライブの内蔵カードリーダーに挿入されているメモリカードのファイルをコピーしますが、増分インポートを無効化することで、ストレージ容量と時間を削減することもできます。増分インポートでは、新しいファイルだけがコピーされ、同じメモリカードから以前インポートされたファイルは無視されます。

1. Toolkitのホーム画面で、[その他] アイコンをクリックして、[Settings (設定)] を選択します。
2. [Incremental copy of inserted memory cards (挿入されているメモリカードの増分インポート)] の横にあるトグルスイッチをクリックします。

## USBデバイスからのインポート

1. USBフラッシュ・ドライブまたはUSB外付けストレージ・デバイスをハブドライブのハブポートに接続します。Toolkitが、接続したドライブの中身をインポートしたいかどうか尋ねてきます。
2. USBドライブからファイルをコピーしたい場合は、[Import (インポート)] をクリックして確定します。接続したドライブからファイルをインポートしたくない場合は、[Skip (スキップ)] をクリックします。



同じUSBデバイスをハブポートに接続する度に、Toolkitは毎回ドライブからファイルをインポートするようにプロンプトします。同じUSBデバイスからの2回目以降のインポートは増分となり、ドライブから新しいファイルだけがコピーされ、同じUSBデバイスから以前インポートされたファイルは無視されます。

## USBデバイスのインポート・プロンプトの有効化/無効化

デフォルトでは、Toolkitは、USBハブポートに接続されたデバイスのコンテンツをインポートするようにプロンプトします。接続したUSBデバイスのインポート・プロンプトを無効化することもできます。

1. Toolkitのホーム画面で、[その他] アイコンをクリックして、[Settings (設定)] を選択します。
2. [Import contents of drives connected to hub ports (ハブポートに接続されているドライブのコンテンツをインポート)] の横にあるトグルスイッチをクリックします。

## インポート済みのファイルの保存場所

Toolkitはすべてのインポートに関して、以下のフォルダを作成します：ドライブ名 > Toolkit > Imported Files



ドライブ名は、Seagateストレージ・デバイスの名前です。

## フォルダの命名規則

インポート中、Toolkitはインポートされたファイルが含まれる一意の名前を付けたファイルを追加します。以下の命名規則が使用されます：

YYYY-MM-DD\_HH.MM.SS\_

YYYY	年
MM	月
DD	日
HH	時間 (24時間表示)
MM	分
SS	秒

メモ리카ードの名前



# Toolkitのインポートに関するよくある質問

質問：インポート機能では、ドライブへのインポートが完了したら、メモリカードの中身は消えるのですか？

答え：いいえ。インポートしてもメモリカードからファイルは削除されません。

質問：外付けのカードリーダーでもインポートを使えますか？

答え：いいえ。インポート機能は、内蔵カードリーダー搭載の一部のSeagateとLaCieのデバイス専用として設計されています。上記の[対応デバイス](#)をご覧ください。

# RAID セットアップ



Toolkit によって、最初の RAID レベルやドライブの互換性のためのフォーマットの構成を簡単に行えます。

サポート対象デバイス	製品サポート ページ	ユーザー マニュアル
LaCie 2big RAID	<a href="#">製品</a>	<a href="#">ドキュメンテーション</a>
LaCie Rugged RAID Pro	<a href="#">製品</a>	<a href="#">ドキュメンテーション</a>
LaCie Rugged RAID Shuttle	<a href="#">製品</a>	<a href="#">ドキュメンテーション</a>

## LaCie RAID Manager からの追加リソース

Toolkit は、最初の RAID レベルの構成をすばやく行えるように設計されています。RAID レベルまたはドライブ形式が工場出荷時の設定から変更されている場合は、Toolkit で RAID セットアップ ウィザードは起動されません。

RAID やドライブ形式にさらに変更を加える必要がある場合は、LaCie RAID Manager を使用してください。LaCie RAID Manager を使用して、アレイの管理や構成、重要な電子メール アラートの設定、およびハードディスク ドライブの状態の測定などを実行できます。

### LaCie RAID Manager の詳細

[LaCie RAID Manager for 2-Bay Devices](#)

[LaCie RAID Manager のダウンロード](#)

[サポートされているオペレーティング システム](#)

## RAID の説明

RAID とは、Redundant Array of Independent Disks (独立ディスク冗長アレイ) の略語です。RAID には「アレイ」という語も含まれています。多くの場合、2 つの用語は同じ意味で使われています。アレイとは、2 つ以上の物理ディスクを組み合わせて、オペレーティング システムからは単一のボリュームに見えるものです。

ディスクは、「RAID レベル」と呼ばれるさまざまな RAID 構成で組み合わせられます。選択する RAID レベルは、次のような重要視するストレージの属性によって異なります。

容量	保存できるデータの総量
パフォーマンス	データがコピーされる速度
保護	データが失われるまでに故障を容認できるディスクの数

Toolkit の RAID では、最初に 2 つのドライブを持つ LaCie と Seagate の RAID ストレージ デバイスを構成できません。利用可能なレベルは RAID 0 と RAID 1 です。

**RAID 0:** 両方のドライブではデータは複製されません。両方のドライブの全容量を固有のデータの保存に使用できるので、高速転送で大容量です。ただし、RAID 0 にはデータ保護が欠けています。1 つのドライブに障害が発生すると、アレイのすべてのデータが失われます。

**RAID 1:** アレイのそれぞれのディスクにデータが複製されます。1 つのドライブに障害が発生しても、データは他のドライブで利用できます。ただし、それぞれのドライブに同じデータを書き込むので、コストがかかります。また、データのコピーに時間がかかり、全体のストレージ容量は 50% に減ります。RAID 1 は、データの保護がパフォーマンスや総ストレージ容量よりも重要な場合に向いています。

まとめると、それぞれの RAID レベルには、以下のような固有のメリットがあります。

RAID レベル	容量	パフォーマンス	保護	工場出荷時のデフォルト
RAID 0	100%	優秀	なし	○
RAID 1	50%	可	優秀	×

## RAID およびデータ セキュリティ

RAID 1 では、1 つのドライブが故障してもデータを保護できますが、すべてのケースのハードウェアの故障やデータ破損に対する完全なデータ保護は保証できません。非常事態によるデータの損失を避けるため、複数のデバイスにファイルを保管することをお勧めします。たとえば、1 つを 2 ベイ デバイスに保持し、もう 1 つを次のいずれかに保持します。

- 他の直接接続ストレージ (DAS) デバイス
- ネットワーク接続ストレージ (NAS) デバイス
- いずれかの形式のリムーバブル ストレージまたはアーカイブ ストレージ

Seagate または LaCie ハードディスク ドライブまたはハードディスク ドライブ システムの使用中に生じたデータのいかなる損失、改悪、破壊は、お客様ご自身の責任です。いかなる場合であっても Seagate または LaCie はデータの回復または修復について責任を負いません。

## Toolkit による RAID レベルとフォーマットの設定

1. デバイスの設定と Toolkit のインストールについては、製品ユーザー マニュアルの指示に従ってください。
2. Toolkit によって、新たに検出された RAID デバイスの RAID レベルを設定するように求めるプロンプトが表示されます(プロンプトが表示されない場合や、過去にプロンプトを拒否した場合は、Toolkit のメインメニューで RAID デバイスをクリックします)。

---

### 全容量を使用し、高速な転送速度 (RAID 0)

デバイスを RAID 0 として構成します。ストレージ容量全体をファイル用に使用でき、データ転送も高速です。ただし、RAID 0 には重要な機能であるデータ保護が欠けています。ハードディスク・ドライブに障害が発生すると、アレイのすべてのデータが失われます。

---

### ファイルの保護 (RAID 1)

デバイスを RAID 1 として構成します。各ファイルがアレイの両方のドライブに保存されます。このため、1 台のドライブが故障してもデータは使用できます。ただし、ストレージ容量は 50% 減少し、データ転送も RAID 0 ほど高速ではありません。

3. その他の画面の指示に従って設定を完了します。



RAID レベルまたはドライブ形式が過去に工場出荷時の設定から変更されている場合は、Toolkit で RAID セットアップ ウィザードは起動されません。 [LaCie RAID Manager からの追加リソース](#) を参照してください。

# RGBとステータスLEDの管理

Toolkitには、対応するストレージ・デバイスのRGBとステータスLEDの照明を管理するためのオプションがあります。

## パターンRGB

プリセットパターンを選択するか、独自のカスタムパターンを作成することができます。仕事や遊びの雰囲気に適した色を選択します。

## ステータスLED

ステータスLEDを有効化または無効化します。

ストレージ・デバイスのRGBおよびLEDのオプション：

対応デバイス	ステータスLED	単色RGB	レインボーRGB	製品サポート	ユーザーマニュアル
LaCie 1big Dock	○	×	×	<a href="#">製品</a>	<a href="#">資料</a>
LaCie 1big Dock SSD Pro	○	×	×	<a href="#">製品</a>	<a href="#">資料</a>
LaCie 2big RAID	○	×	×	<a href="#">製品</a>	<a href="#">資料</a>
Seagate FireCuda Gaming Dock	○	○	×	<a href="#">製品</a>	<a href="#">資料</a>
Seagate FireCuda Gaming Hard Drive	○	○	○	<a href="#">製品</a>	<a href="#">資料</a>
Seagate FireCuda Gaming Hub	○	○	○	<a href="#">製品</a>	<a href="#">資料</a>
Seagate FireCuda Gaming SSD	○	○	×	<a href="#">製品</a>	<a href="#">資料</a>

**i** Game Drive for Xbox - Toolkit RGBコントロールを使用して、製品のカラーパターンやアニメーションを設定できます。ご利用の製品での手順は、[Game Drive for Xboxスペシャル・エディション・ユーザーマニュアル](#)をご覧ください。

## ステータスLEDの無効化/有効化

ステータスLEDはデフォルトで有効になっています。ストレージ・デバイスでステータスLEDを無効化/有効化する

には：

1. コンピュータにストレージ・デバイスを接続します。
2. Toolkitを開きます。
3. ホームページで、ストレージ・デバイスをクリックします。
4. ステータスLEDスイッチをクリックして、ステータスLEDを無効化/有効化します。

## RGB照明パターンの編集

Toolkit RGB動作は、以下のRGBパターンコントロールをサポートしています。

- Razer Chroma
- FireCuda RGB（デフォルト）

1台のデバイスで使用できるカラー管理オプションは1つだけです。

## RGB動作へのアクセス

RGB動作にアクセスするには：

1. 互換性のあるストレージ・デバイスをコンピュータに接続します。
2. Toolkitを開きます。
3. ホームページで [RGB Activity (RGB動作)] をクリックします。[RGB Activity (RGB動作)] 画面が表示されます。

## RGB照明の設定

[RGB動作] 画面の上部にある以下の設定が、すべてのRGBパターンコントロールに適用されます。

- **Intensity (強度)** - スライダーを右方向に動かすとRGBの輝度が高くなり、左方向に動かすと輝度が下がります。
- **On (オン)** - スwitchをクリックするとRGBのオン/オフが切り替わります。
- **Sync Seagate compatible devices (対応のSeagateデバイスを同期)** - このオプションは、Seagate FireCuda Gaming DockおよびSeagate FireCuda Gaming SSDでのみ使用できます。対応するデバイスをPCに2台以上接続している場合は、スwitchをクリックしてすべてのデバイスでRGBパターンを同期できます。接続されているRGBストレージ・デバイスのいずれかで有効化すると、すべてのRGBがパターンの変更に合わせて動作します。（メインデバイスや予備デバイスはありません。最後に編集した設定が同期したすべてのデバイスのパターンを定義します。）このオプションを無効化すると、すべてのデバイスはデフォルトのカラーに戻ります。

## Razer Synapse 3アプリを経由したRazer Chroma (Windowsのみ)

Razer Chromaは、多彩なパターンやゲーム内オプションを持つ、代表的なRGBビデオゲームソフトウェア管理プロトコルです。すべての管理はRazer Synapseアプリケーション内で行われます。Razer Synapseでは、構成済みのRGBパターンを使用するか、新しいパターンを作成できます。また、Razer Synapseは、ゲームプレイに合った色

を有効化させるRGB照明対応の多数のビデオゲームをサポートしています。サポートされているパターンやゲーム、およびRazer Synapse アプリケーションをダウンロードする方法の詳細は、[Razer Synapseのウェブサイト](#)をご覧ください。

## Razer Chromaの要件

- 最新バージョンのToolkit。
- Razer Synapse 3ソフトウェアがインストール済みで、実行中である必要があります。
- Chroma ConnectがRazer Synapse 3で有効化されている必要があります。

**i** 重要 - Toolkit RGBコントロールは、Razer Synapse 3以降に対応しています。Razer Synapse 2では、Seagate RGBストレージ・デバイスのLEDを制御することはできません。

## Razer Chromaの使用

Razer ChromaをRGBコントローラとして使用するには、Razer Chromaの動作のカードで [Enable (有効化)] をクリックします。


## FireCuda RGBアプリ

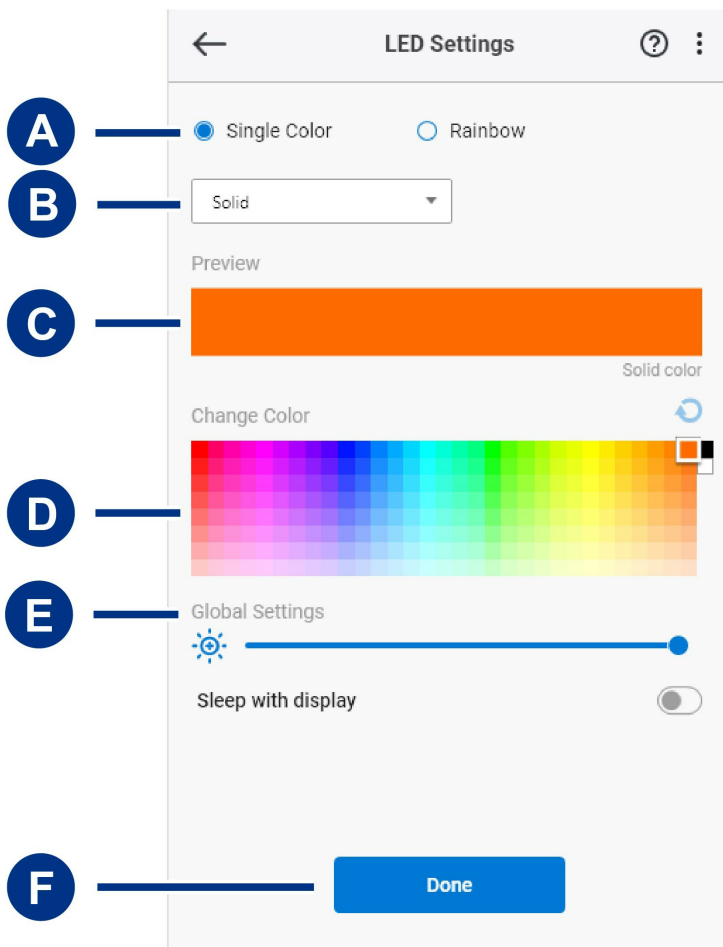
FireCuda RGBは、ネイティブのToolkit RGB管理プロトコルです。デフォルトでは有効になっています。

## LED設定の編集

LED設定では以下が可能です。

- 単色かレインボーパターンを選択する。
- 事前設定アニメーションかカスタムアニメーションを選択する。
- カラーやアニメーションの設定を変更する。
- グローバル設定を変更する。

LED設定を編集するには、FireCuda RGB動作で編集アイコン() をクリックします。[LED Settings (設定)] 画面が表示されます。



- A. **Select Pattern (パターンを選択)** - 作成するパターン（単色またはレインボーパターン）を選択します。単色のアニメーションでは、LED全体を使用して単色を表示します。レインボーパターンのアニメーションでは、LEDに最大6色が含まれます。レインボーは一部のドライブでは使用できません（以下の[製品一覧](#)をご確認ください）。
- B. **Select Animation (アニメーションの選択)** - 選択したパターンにアニメーションタイプを選びます。
- C. **Preview (プレビュー)** - 現在のパターン/アニメーションをプレビューしてアニメーション時間を指定します。
- D. **Change Color (色を変更)** - 適用するパターンの色を追加または削除します。
- E. **Global Settings (グローバル設定)** - グローバル設定を変更します。
- F. **Done (終了)** - パターン/アニメーションの設定に対する変更を確定します。

## パターンを選択

単色またはレインボーパターンを選択します。アニメーションに使用できるカラーと表示時間の管理については、以下の表をご確認ください。

## アニメーションを選択

以下のアニメーションタイプから選択します。

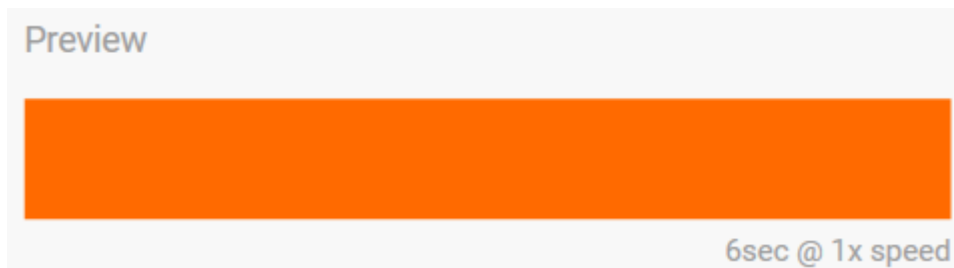


パターン	アニメーション	説明	アニメーション合計時間	ユーザーの選択
単色	連続	単色を連続的に表示します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 100%色を保持</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 単色</li> </ul>
単色	点滅	選択した単色を点灯および消灯します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 6秒 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 50%色を保持</li> <li>○ 50%オフ</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 単色</li> </ul>
単色	ブリーズ	選択した単色のフェードのオン/オフが切り替わります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ユーザーの選択（デフォルト = 6秒） <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 25%色を保持</li> <li>○ 25%フェードオフ</li> <li>○ 25%オフ</li> <li>○ 25%フェードオン</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 単色</li> <li>● アニメーション合計時間</li> </ul>
単一単一	スペクトラム	6色（赤、オレンジ、黄、緑、青、紫）で遷移します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ユーザーの選択（デフォルト = 18秒） <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 50%色を保持（1色あたり8.33%）</li> <li>○ 50%色を遷移（遷移あたり8.33%）</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● アニメーション合計時間</li> </ul>
単色	カスタム 1	作成したカスタムパターンを表示します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ユーザーの選択（デフォルト = 6秒）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 複数の色</li> <li>● 色の保持時間</li> <li>● 色の遷移時間</li> </ul>
単色	カスタム 2	作成したカスタムパターンを表示します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ユーザーの選択（デフォルト = 21秒）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 複数の色</li> <li>● 色の保持時間</li> <li>● 色の遷移時間</li> </ul>
単色	カスタム 3	作成したカスタムパターンを表示します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ユーザーの選択（デフォルト = 2秒）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 複数の色</li> <li>● 色の保持時間</li> <li>● 色の遷移時間</li> </ul>
レインボー	スタティック	レインボーパターンを連続的に表示します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 100%色を保持</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● -</li> </ul>
レインボー	ブリーズ	レインボーパターンのフェードのオン/オフが切り替わります	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 6秒 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 50%色を保持</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● -</li> </ul>
レインボー	点滅	レインボーパターンのオン/オフが切り替わります	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 6秒 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 25%色を保持</li> <li>○ 25%フェードオフ</li> <li>○ 25%オフ</li> <li>○ 25%フェードオン</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● -</li> </ul>

レイン ボー	スライド	レインボーパターンは右から左にスライドします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 1.8秒</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• -</li> </ul>
レイン ボー	カスタム 1	カスタムレインボーパターンを連続的に表示します（スタティック）。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 100%色を保持</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 複数の色</li> </ul>
レイン ボー	カスタム 2	カスタムレインボーパターンのフェードのオン/オフが切り替わります	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ユーザーの選択（デフォルト = 6秒）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 複数の色</li> <li>• 色の保持時間</li> <li>• 色の遷移時間</li> </ul>
レイン ボー	カスタム 3	カスタムレインボーパターンのオン/オフが切り替わります（点滅）。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ユーザーの選択（デフォルト = 3秒）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 複数の色</li> <li>• 色の保持時間</li> </ul>

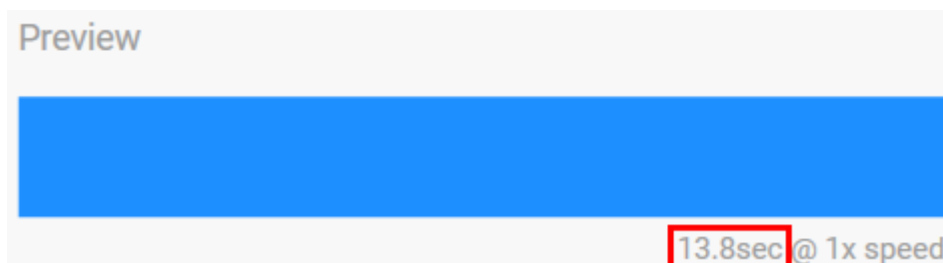
## 選択したパターン/アニメーションのプレビュー

[Preview (プレビュー)] ウィンドウでは、選択したパターン/アニメーションの色、遷移、表示時間を表示できません。

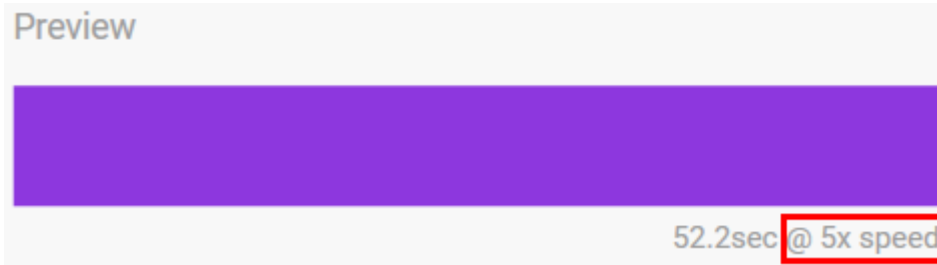


編集時、デバイスLEDはプレビューを反映します。

合計アニメーション時間（パターンの1サイクルが完了するまでの所要時間）が [プレビュー] ウィンドウの下に表示されます。

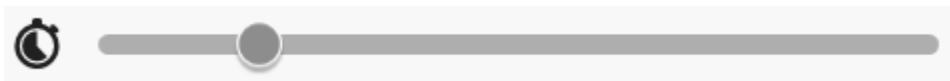


アニメーション合計時間（15秒〜）が長い場合は、自動的に [プレビュー] ウィンドウでのアニメーションの再生速度が速くなり、変更を短時間で確認できます。現在の再生速度がアニメーション合計時間の隣に表示されます。



## 表示時間のコントロール

一部のパターン/アニメーションは、アニメーションが再生される合計時間をコントロールできます。スライダーを使用してアニメーション合計時間を設定します。



アニメーション合計時間は、色の保持と遷移の間に均等に分割されます。

特定のカスタムパターン/アニメーションは、色の保持または遷移の設定をコントロールできます。

- A. 色の保持の設定 - 色の保持に使用される合計時間を表します。合計時間は、パターン内の色の数で分割されます。
- B. 色の遷移の設定 - 1つの色から次の色への遷移に使用される合計時間を表します。合計時間は、パターン内の遷移の数で分割されます。

スライドを使って色の保持および遷移時間をコントロールします。

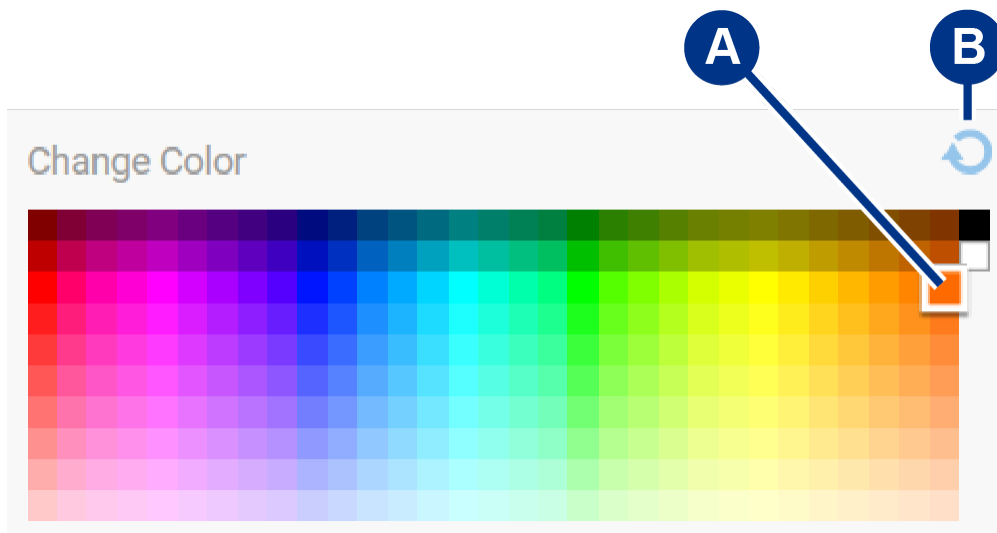


色の保持の設定と色の遷移の設定を合わせて、合計アニメーション時間が決まります。

## 色を変更

### 単色のプリセットアニメーション

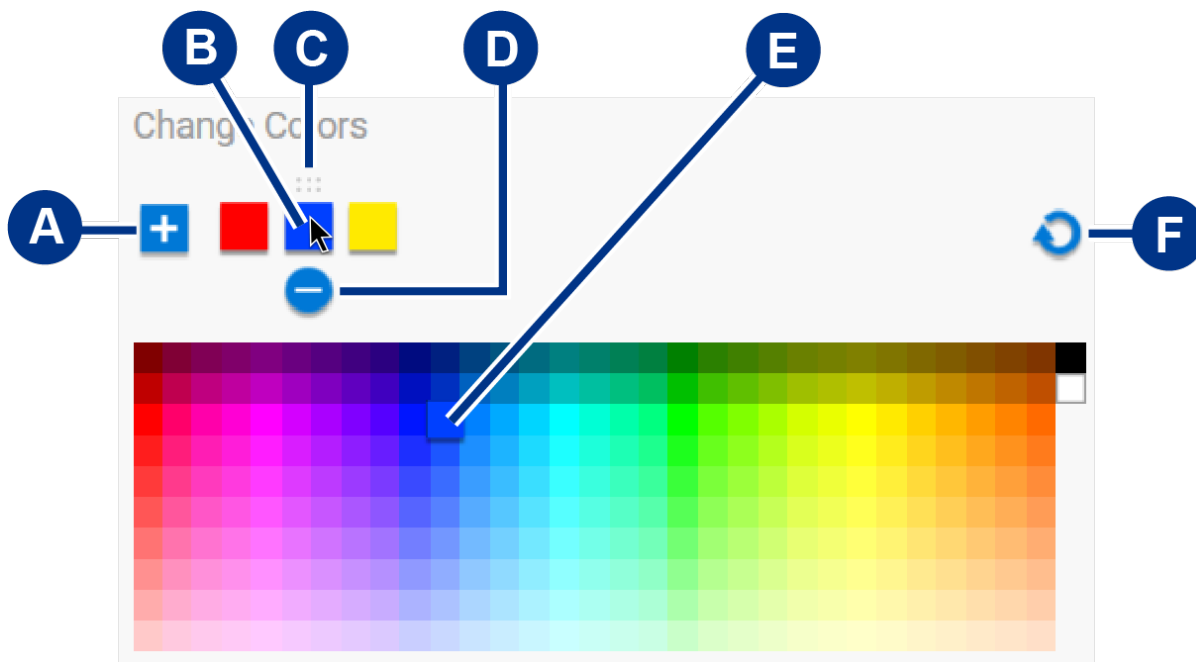
連続、点滅、ブリーズの各パターンで選択できる色は1つだけです。



- A. 色をクリックして選択します。
- B. リセット・アイコンをクリックして、デフォルトのオレンジの色を選択します。

### 単色およびレインボーのカスタムアニメーション

単色およびレインボーのカスタムアニメーションは、複数の色を指定できます。




- A. 追加アイコンをクリックしてシーケンスに色を追加します。最大6色まで追加できます。（単色のカスタムアニメーションのみに使用できます。レインボーカスタムアニメーションは常に6色必要です。）
- B. クリックしてシーケンスで色を選択します。
- C. グリッド・アイコンをクリックして、選択した色をシーケンスの別の位置にドラッグします。
- D. 削除アイコンをクリックして、選択した色をシーケンスから削除します。（単色のカスタムアニメーションのみに使用できます。レインボーカスタムアニメーションは常に6色必要です。）
- E. クリックして選択した色を変更します。
- F. リセット・アイコンをクリックして、カスタムアニメーションのデフォルトの色と設定を選択します。

## グローバル設定を変更

以下の設定を使用して、ストレージ・デバイスのパターンLEDを制御します。

設定	説明
輝度	スライダーを移動させてパターンLEDの輝度を制御します。デフォルト設定は100%です。
常にオン	有効にした場合、ストレージ・デバイスの電源が入っていると必ずパターンLEDが点灯します。[Always on (常にオン)]を有効にすると、[Sleep with display (スリープ時に消灯)]が無効になります。
スリープ時に消灯	有効にした場合、ホストコンピュータがスリープ状態であるときや電源が入っていないときには、パターンLEDは点灯しません。[スリープ時に消灯 (スリープ時に消灯)]を有効にすると[常にオン (常にオン)]は無効になります。

# 設定

アプリの設定やサポート、ドキュメント、ソフトウェア情報を表示するには、メインメニューで [その他] アイコン (  ) をクリックして、[Settings (設定)] を選択します。

## Toolkitアプリの設定

**Start Toolkit automatically at startup** (起動時に Toolkitを自動で開く) 有効化されている場合、コンピュータを起動すると Toolkitが自動で開きます。スケジュール設定バックアップを実行するには、Toolkitを開いておく必要があります。

**Enable Detailed Logs** (詳細ログを有効化) 有効化している場合、Toolkitがトラブルシューティングに使用できる詳細なログを記録します。SeagateまたはLaCieのサポート担当者より指示があった場合のみ有効化します。

## インポートの設定

インポートの設定は、内蔵カードリーダーまたはハブポート搭載のSeagateおよびLaCieの対応ドライブでしかご利用いただけません。[対応デバイス一覧](#)のリンクをクリックしてください。

**Import content of inserted memory cards** (挿入したメモリカードのコンテンツのインポート) 有効化されている場合、Toolkitは、SeagateまたはLaCieドライブの内蔵カードリーダーに挿入されているメモリカードのファイルを自動的にコピーします。

無効化されている場合、Toolkitはカードスロットに挿入されているメモリカードの読み取りは行いません。

**Incremental copy of inserted memory cards** (挿入したメモリカードの増分コピー) 有効化されている場合、メモリカードのコピーは増分コピーとなります。つまり、新しいファイルだけをコピーして、同じメモリカードから以前インポートされたファイルは無視します。

無効化されている場合、ファイルが過去にコピーされているかどうかにかかわらず、カードスロットに挿入されているメモリカードから毎回すべてのファイルをコピーします。

Import contents of drives connected to hub ports (ハブポートに接続されているドライブのコンテンツのインポート)

有効化されている場合、外付けドライブのハブポートに接続されているUSBストレージ・デバイスからファイルをコピーするよう求められます。

無効化されている場合、USBストレージ・デバイスからファイルをコピーするよう求められません。

## Toolkitのアップデート

アプリが開いている状態で、コンピュータがインターネットに接続されている場合、Toolkitはアップデートの確認を行います。Toolkitは以下の場合に自動でアップデートの確認を行います。

- コンピュータを再起動して、Toolkitを再開したとき
- Toolkitを一度終了して開き直したとき
- 前回の確認から24時間経過したとき

## 情報

[[About](#) (情報)] をクリックすると、

- Toolkitアプリと操作のバージョントラブルシューティングの際、カスタマーサポート担当者がToolkitアプリと機能に関連するバージョン番号をお伺いすることがあります
- SeagateおよびLaCieページのリンク
  - 利用条件
  - プライバシー方針
  - ソフトウェアに関する法律上の注意点
  - エンドユーザー使用許諾契約書